

ひとりにしない!子育て介護

後藤ゆう子の市議会通信



発行：西東京・生活者ネットワーク 発行責任者：広瀬郁美 発行日：2022年10月10日
〒202-0015 東京都西東京市保谷町6-25-1-102 E-mail nishitokyo@seikatsusha.net
TEL 042-453-4121 FAX 042-410-0014 URL https://nishitokyo.seikatsusha.me




議場に女性部長はゼロ 政策決定の場に女性は必要!

西東京市は2004年から男女平等参画推進計画を策定し、施策を進めています。今の計画では「政策・方針決定過程への男女平等参画の推進」を重点課題に設定していますが、市の審議会の女性委員の割合は、今年4月時点で約32%。目標の40%に届いていません。それよりも深刻なのは、市長、副市長をはじめ全部長が50~60代男性で占められて**女性は一人もいない**ということです。最近では女性副市長を登用する自治体も増えてきました。市長に提案しましたが、「副市長の登用には性別で判断しない」との答弁。では、市政に女性の視点をどうやって入れていくのでしょうか。

何歳になっても投票したい! 投票所まで行けない人への支援策が急務

全国的に70代の投票率は高いのに80代になると一気に下がることが分かっています。西東京市内に29か所ある投票所までの平均距離は500~600メートル。遠い人は1200メートルにもなり、足腰が弱い高齢者には歩いて行くには厳しい距離です。郵便投票の要件緩和や、デイサービスといった通所施設での投票、無料の送迎サービス、投票箱を乗せた車の巡回などを早急に検討実施すべきです。



後藤の近況報告

こもれびホールであった『夢みる小学校』の自主上映会。ひとりひとりの個性を大切にした子どもファーストな3つの学校が登場。公立の小学校でも、校長権限で自由に学校経営ができることを知りました。



仲間と活動中の畑で採れた西東京野菜。鮮度抜群の地場農産物の魅力を伝え、都市農地を守りたい!



障がいのあるや国籍に関わらず、あらゆる子どもたちが一緒に遊べるユニバーサルデザイン遊具のある府中の森公園「もり公園 にじいろひろば」こんな公園が身近にあるといいですね!



「食べることは生きること」食の安全に関する質疑を重ねてきました。遺伝子組換え食品、ゲノム編集食品を給食に使用しないよう求めていきます

決算特別委員会より

・学校給食に地場野菜を!・官製ワーキングプア問題

学校給食の地場野菜の使用率が上がりません。教育委員会も地場野菜の使用を進めるとしていますが、栄養士が異動や産休となると、途端に使用率が下がります。栄養士により使用率が変わるのではないよう、それぞれが学校の担当する生産者が必要という関係作りが重要です。

市民生活を支える市役所職員約四割が会計年度任用職員という非正規職員です。一年契約という短期契約で連続四回までは更新契約できますがその次は新規の就職希望者と同様に公募に申し込まねばなりません。不安定雇用で報酬も月額三百万円以下の低賃金です。市だけで解決できない、官製ワーキングプアという問題、なんとかしたい!

後藤ゆう子のプロフィール

1967年大阪・吹田市生まれ。滋賀県立膳所高校、同志社大学法学部卒。情報通信企業勤務。1998年旧田無市に転入。2人の子育てをしながら2007年より生活クラブ生協の店舗「デポー西東京」を運営するワーカーズコレクティブまどかのメンバーとして働く。2015年より西東京市議会議員(2期8年)。柳泉園組合議員。趣味はクラシックギター。夫、娘、息子の4人家族。芝久保町在住。

西東京・生活者ネットワーク 後藤ゆう子の活動を紹介します。

